

2016年度 第1回 NPO法人共同保存図書館・多摩理事会

- 1 日時：2016年4月18日（月） 午後6時30分から
- 2 場所：立川市柴崎学習館 第1教室（地下） （立川市柴崎町2-15-8）
- 3 議決権のある理事：8名、出席理事：7名
出席者：座間直壯、齊藤誠一、田中ヒロ、手嶋孝典、平山恵三、堀渡、矢崎省三
欠席者：清田義昭
事務局：

4 報告及び協議事項

(1) 第1号議案 会員の動向について【報告】

- ・2016年4月1日現在 正会員91名3団体 賛助会員41名1団体 計136名・団体
※3/31での退会 正会員3名 賛助会員1名 4/1での入会 正会員1名 賛助会員1名

(2) 第2号議案 共同保存にむけての動きについて【報告・協議】

①都立図書館の書庫で市町村との共同保存を促すための提案書について

- ・市町村立図書館長協議会は昨年秋にプロジェクト報告書を出し、利用者への提供のために多摩地域全体で希少な資料は残すよう共同保存に努める原則を確認した。
- ・しかし現実には既に書庫容量を越えて保存せざるを得ない自治体が多く、原則の実現のためには、各館書庫以外に、置ききれなくなった資料を移せるリアルな共同保存施設の創出が強く求められている。以前あった市町村の拠出金で書庫を生み出す案は、今回の報告にはふれられていない。
- ・東京都の協力による広域行政施策として生み出すことを考える必要がある。新都立多摩図書館が8月末竣工、来年1月開館予定で工事中だが、これにより都には大きな書庫面積が生まれる。
- ・多摩デポから動きを作る必要があり、書庫の必要性を訴えることは勿論だが、東京都にも受け入れられる提案でなければならない。
- ・2月理事会以降検討し、整理した案について討議した。

<提案書案の骨子>

- ・「都にない資料は都立に移管し、都立の蔵書にして共同保存」ではなく、「多摩地域で希少なタイトルを保存するために都立書庫の一部を場所貸ししてほしい」という提案。
- ・富山県、滋賀県、岡山県等で行なわれている共同保存とは違うが、その方が東京都の作業負担は少ない。また都の資料収集方針や保存年限の考え方との支障も少ないだろう。
- ・市町村の図書館長会の調整が機能しており、多摩デポの活動もある東京都内では、この方法が現実的ではないか。
- ・東京都民全体にも活用できる蔵書資源の保存となる。

②今後、提案趣旨を関係者に説明しながら理解を広げる努力をしつつ、東京都とも話し合いを続ける。

※この考えを盛り込んだ理事長執筆論文（『出版ニュース4月下旬号』掲載予定）についても説明があり、了承した。

(3) 第3号議案 (株)カーリルとの共同保存 中間報告会とその後の展開について【報告・協議】

①共同研究の中間報告会を実施

- ・「ここまで進んだバーチャル共同保存図書館～開発中の新システムを体験してみよう～」
3月21日（月）午後1時30分～4時 国分寺労政会館第3会議室
参加者34名(カーリル2名含) うち 会員16名 多摩地域図書館の所属7館10名

- ・当日は経過説明などのあと、用意したPCと各館から借り集めてきた蔵書を使って自由に検索し、意見や感想を言ってもらった。大変迅速に結果が返ってくることに驚きの声、さらに付け加えてほしい希望やアイデアをたくさん出してもらった。
- ・報告会の場で予告し、当日夜から、多摩デポホームページで「多摩デポ・所蔵確認ツール（仮称）」を公開した。関連し、これまでの共同研究の概要を紹介するコーナーをホームページ上に作った。
- ・INTERNET Watch 編集部の取材あり。3月31日に記事が配信される。分かりやすい記事を書いてもらった。

②現段階での反響

- ・人数はさほど多くなかったが、好評価と今後への期待や希望を多くいただいた。反響を、これからの共同研究で生かしていきたい。
- ・多摩デポとして、地域毎に図書館への説明会を企画する必要があるかもしれない。
- ・カーリルは多摩デポとの共同研究を元に、高速の「新京都府立図書館の横断検索システム」発表。
→ もちろんISBNが付与されていない図書館蔵書の検索にも対応している
- ・速さは認知されたが、さらに正確さの検証・修正を重ねたい（ISBNの10ケタと13ケタ問題、各図書館のシステムが非稼働時の注意喚起の問題、各館のシステムとの相性の問題等あり）。

③「多摩デポ・所蔵確認ツール（仮称）」の正式名称をどうするか？

- ・「タマでポン」、「タカラス」（お宝本たちの意）＝「TACARAS」（Tamadepo Calil rare books check system for public libraries in Santama area）あるいは「TACALAS」（Tamadepo Calil last 1・2 books check system for public libraries in Santama area）、新案として「タマラス」（多摩 LAST の意、TAMALAS）等が現在の候補である。
→ 協議の結果は総会で発表する。それまでは現状のままとする。

（4）第4号議案 2016年度総会の議案および記念講演について【報告・協議】

①総会日程&会場

- ・5月29日（日）午後 国分寺労政会館 第1会議室（地下）
午後2時～3時総会
午後3時20分～4時40分 記念講演
午後5時～7時30分（予定） 懇親会 中華食堂「あひるのたまご」

②総会議案書の確定

- ・2月理事会以降、各理事からメールでの意見を待ったが特に来ていない。事務局より、議案書の最終案を配布、説明して了承された。

③総会記念講演会の企画（講師とテーマ）

- ・講演者 國松完二氏（滋賀県立図書館長）
- ・演題 「県立と市町立図書館の協力による共同保存の実践」
- ・新都立多摩図書館の竣工から開館に至る年度を迎える。滋賀県では、県と市町村が相互の条件や意向をどのように出し合い協力しながら、共同保存を実現し維持してきたかの実例を伺い、ヒントを得たい。理念の啓発ではなく実態的なことを聞ける講演とする。市町村、都立の実務者、企画担当者にも来てもらえる内容にする。

④会計

- ・第2号議案、第4号議案について説明と審議
2015年度活動計算書（案）、計算書類の注記（案）、2015年度貸借対照表（案）、2016年度活動予算書（案）について説明、いずれも承認された。

⑤役員・事務局員の総会・懇親会の出欠確認

理事欠席予定者は1名

⑥準備スケジュール

- ・印刷と発送 印刷は23日と28日、発送は28日 ・出欠と委任状の締め切り 5月10日
→ 協議の結果、提案どおり了承。

(5) 第5号議案 多摩デポ通信第38号について【報告・協議】

- ・紙面予定を報告、了承される。4月28日発行、総会の議案書等に同封して発送する。

(6) 情報交換

【多摩デポ論文】

- ・福嶋聡.“コラム 本屋とコンピュータ: 第161回「多摩デポ講座『紙の本は、滅びない』について” 人文書院. 2016-2.

<http://www.jimbunshoin.co.jp/rmj/honyatocomputer161.htm>

- ・“ニュース: オープンデータの活用で、地域の図書館が所蔵する貴重な1冊を効率的に保存”. INTERNET Watch. 2016-03-31.

http://internet.watch.impress.co.jp/docs/news/20160331_750964.html

- ・座間直壯 「新都立多摩図書館の中に共同保存図書館機能を！～図書館とのコラボを提案」
出版ニュース 2016年4月下旬号掲載

※第25回多摩デポ講座について、『みんなの図書館』誌から講演報告を3,000字で執筆依頼。

※カレントアウェアネスより執筆依頼。

【共同保存図書館関連論文】

特になし

※【読売新聞多摩版コラム「週刊たま手箱」】に「NPO法人共同保存図書館・多摩」として執筆

今後、月に一回程度の掲載予定 カットは西村祐貴氏

- ・2016年3月2日 「蔵書検索はタイムマシン」 (堀 渡)
- ・ 4月13日 「図書館に聞いてみよう」 (田中ヒロ)

★ 次回の理事会 6月 9日 (木) 午後6時半

★ カーリルとの定例研究会 (第14回) 4月21日 (木) 午後6時半～ 立川シビル2A

★ 次回の事務局会議 5月14日 (土) 午後6時半～ 調布市たづくり11階みんなの広場

5 議事録署名人の選任

議事録署名人として2名を選任することを諮り、齊藤誠一理事と矢崎省三理事を選任することを全員異議なく承認した。

以上、この議事録が正確であることを証します。

2016年4月18日

議長

議事録署名人

議事録署名人